

## 1 研究主題

みんなで話し合って考えよう  
～めあてに向かって学んだことを基に、考えをまとめることができる子どもの育成～

## 2 研究のねらいとこれまでの取り組み

平成30年度より、話し合いの場において、自分と友達の意見や考えの共通点・相違点に気付くだけでなく、よりよい意見や考えはどれかをみんなで出し合い、自分の考えを深めることに重点をおいて研究に取り組んでいる。この取り組みは、学習指導要領や、名古屋市教育委員会が重視している『なかまなビジョン』において、「主体的・対話的で深い学び」として重要性が示されている。

これまでの3年間、話し合い活動を大切に（対話的な）学び、学習のめあてをもち、学んだことを振り返る（主体的な）学びの実現を目指した授業づくりに継続的に取り組んできた。特に昨年度は、あてをつかんだ上で、そのめあてをどのように解決していったらよいのか話し合い、学習の見通しをもつことができる（主体的な）学びの授業づくりに取り組んだ。その結果、多くの子どもに「～を知るためには…をするとよい」や「…をすると～が分かるのではないか」といった主体的な学習態度が身に付いてきている様子が見られた。

そこで、今年度は、導入でめあてをつかみ、展開でめあての解決に向かって取り組む昨年度の取り組みからの継続で、「めあてに向かって学んだことを基に、自分の考えをまとめる（深い）学び」の実現を目指す。そのためには、まず、展開場面の終わりに学んだことを振り返った上で自分の考えをまとめる活動を行う。その後、話し合ったり文にまとめたりするなどの活動の手立てを工夫することで、深まったり広がったりした自分の考えをまとめることができるようにする。こうすることで、子どもたちがより考えを深めていけるようにしたい。

## 3 研究の方法

～学びを深める授業づくり（学習過程の工夫）～

### ① 導入「めあてをつかむ」（学習の見通しをもつ活動）

本時や単元のゴールに向けて学習のめあてをもった上で、どのように解決していったらよいのか話し合い、見通しをもつことができるようにする。

### ② 展開「自分の考えをもつ」「なかまと対話する」（追究する活動）

一人一人が自分の考えをもち、話し合って自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。

### ③ まとめ「振り返る」「まとめる」（学んだことを振り返り、考えをまとめる活動）

めあてに対する答えを子どもが自分の言葉でまとめたり、初めにもっていた考えから広がったり深まったりした考えを表現したりする